

# 市民のみなさんの声とどけて奮闘

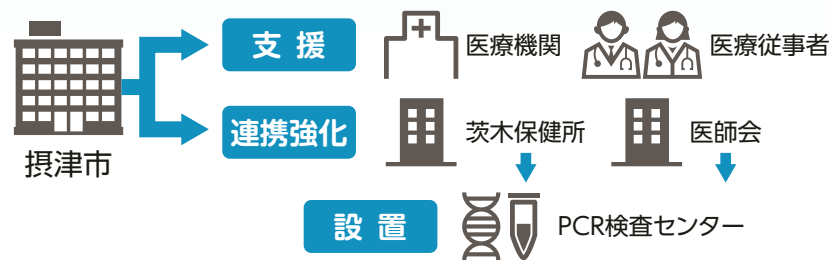
## 住民が主人公の政治実現に全力でがんばります！

日本共産党

7月以降、新型コロナウイルス感染症が拡大し、不安が広がっています。6月に開かれた市議会「第2回定例会」の一般質問では、市民のみなさんから寄せられている不安や要望等を取り上げました。主な質問内容を報告します。

### コロナ感染拡大 安心の医療・検査体制の強化を

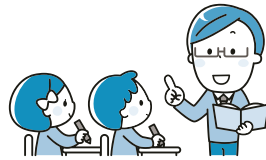
「症状があるのに検査が受けられない」ということがないように、身近で「お医者さんにかかりやすい」「検査しやすい」「治療しやすい」医療が必要です。摂津市として医療機関や従事者への支援、PCR検査センターの設置など茨木保健所や医師会との連携強化を求めました。



### 子どもたちの学び、心身のケア、安全を 保障する環境を

6月はじめ感染予防のため、分散登校が行われました。クラスを2つに分けたことで20人規模の少人数学級となりました。一人ひとりの児童生徒を把握しやすく不登校なども減少しました。現在、再び40人学級に戻りましたが、教室内はソーシャルディスタンスを確保することも困難です。

学習の遅れ、格差の拡大、子どもたちの不安とストレスなどかつてない事態を解決するために今こそ少人数学級を実施するよう求めました。



### 国民健康保険料の減免制度 市の独自減免は0件？

国の制度としてコロナ特例減免（世帯主の収入が3割以上減少）が設けられる一方で、制度から漏れる収入が少ない人が対象の市独自減免が今年度は0件だと判明。市は10万円の特別定額給付金が入ることを理由としています。生活保護制度でもこの10万円は収入認定除外なのに」と抗議しました。

### 中小業者の営業まもれ！ 商工業へさらなる支援を！

コロナ危機のもとで中小企業、小規模事業所はかつてない苦境に立たされています。市独自の激励給付金（10万円）などは喜ばれているものの充分に行き届いているのか。国の「持続化給付金」や府の「休業要請支援金」など、受付がオンライン申請のみだったり、申請しても遅々として届かなかったりする中で、市としての状況把握とさらなる対応、サポート会場の設置などを求めました。

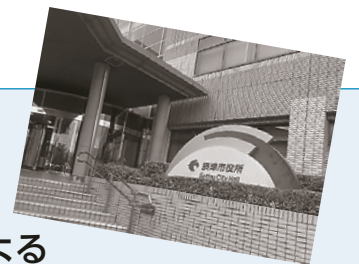
### コロナ禍での災害対策は？ 来年度「地域防災計画」の見直しへ

毎年、豪雨や台風、地震により災害被害も大規模化する中で、この間、各地で発生する豪雨災害により大きな被害が生まれています。国や大阪府の「コロナ禍での避難所運営に関する通知や指針」を受けて、避難のあり方、避難所運営のあり方をはじめ、この3月にまとめた「摂津市の地域防災計画」を見直していきます。

今年度は、感染症防止の視点からの避難所の点検をはじめ、情報の伝達方式の見直し、三島地域における広域避難の問題、大阪府の見直しに向けた通達などを含め、様々な取組み、検討を行い、来年度に「摂津市地域防災計画」の見直しを行う予定です。

### 市民（高齢者や交通弱者も）の足確保 どこでも移動が可能に

今日、買い物や通院など住民の移動、行動、まとめて交通権というものをも基本的な権利の一部であるという考え方が広く共有されてきています。摂津市では、セッピー号（2台運行）と市内循環バスに取り組み、のべ利用人数は39100人と多くの方が利用されています。これから高齢化社会に向けても、各地で実施している「年間定額のシルバーパス」等への変更を含め、福祉の視点からの取組みにシフトすべきではと提案。今後、今年度中に策定する予定の「第8期かがやきプラン」の中で検討していくことになりました。



## 市のミスで1500万円の過大還付、市は提訴へ

### 仕事のあり方改善と再発防止へ 動き出す

摂津市は、2018年度の住民税に関して、誤って約1500万円も多く還付していたことを発表。ご本人に謝罪し返還を求めてきたが応じて頂けないということで、提訴の準備を進めています。

日本共産党はこうしたミスが起きた背景には、この間の正規職員削減、非正規化、外部

委託化の流れの中で、チェック体制の弱体化、専門職員不足があるのではないかと考えています。正規職員の増員を図るとともに、税務関係に熟達した職員の育成、そして二重三重のチェック体制の強化、職場内での見える化等を行うよう求めました。同時に、日常業務はもちろん、災害時やコロナ感染の対応でも市職員の役割は大きく、必要な職員数全体についても見直すべきだと求めています。

### 弁護士等による 第三者委員会を設置

今回、別の課においても「親睦会費盗難など不祥事」が判明しました。こうしたことから、6月議会において「事務執行適正化第三者委員会」の設置が可決され、当面年度内をめどに、一連の不祥事を検証し、その背景や原因、なぜ防止できなかったのか、再発防止に関する対策をまとめていくことになりました。